

銀座街づくり会議

〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目6-1 銀座三和ビル3F

PHONE: 03-3567-1535 ● FAX: 03-3563-0236 ● <http://www.ginza.jp/ga-tpc>

● このNEWS LETTERは、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています●

銀座では、いくつかの大規模開発案件が計画されています。そのうちのひとつが、三越増床計画です。2月5日、三越では全銀座会のみなさんを対象に、説明会を開催な

さいました。三越では、区道を付け替えることによって新館と旧館をつなげ、一体化した計画を考えています。間の区道は車も歩行者も通れるようにします。

三越増床計画

三越による説明会開催

2月5日(月) 14時半より、紙パルプ会館にて三越増床計画の説明会(三越主催)が開催されました。ご案内は全銀座会を中心になされ、当日の出席者は約80名。

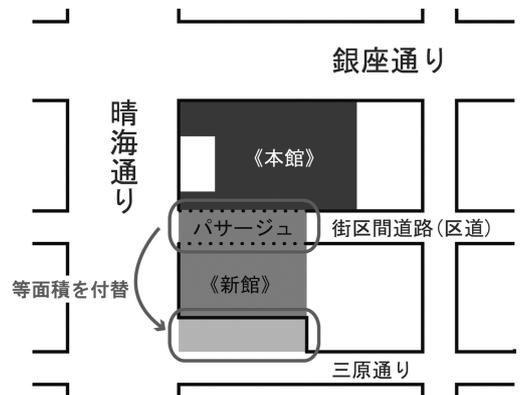
三越のご説明によると、銀座通り東側は西側とくらべて店舗数や歩行者数が少なくなっているとのこと。要因のひとつとして、銀座通りの1本裏の通りを三越など大規模店舗が、荷さばきや駐車場出入りに使っていることが考えられます。三越の開発計画は、店舗そのものの活性化はもちろんですが、荷さばきを地下化し、通りのにぎわいを増すよう工夫がなされるとのことです。

三越は現在の本館部分はそのままだ、街区間道路(本館裏の通り・区道)を三原通り側に付け替えて、街区間道路の通りとしての機能は残したまま、パサージュ(建物内貫通道路)とし、新館と一体化する計画です(右図参照)。従来通り、24時間、人も車も通行できるように維持します。拡幅した三原通りには地下駐車場への出入り口ができますが、歩行者の流れを妨げない工夫や、にぎわいを維持する工夫を予定しています。地域貢献としては公共地下駐車場、駐輪場、駐バイク場などができるほか、地下鉄銀座駅の4丁目交差点地下広場をもっとひろく使いやすくする計画も考えています。

これらの計画は、パサージュとなる街区間道路が未来永劫、銀座のすべてのお客様のための通りとして、安心安全に活用できることを保証していただくことが前提です。銀座街づくり会議では、そのためにどのような担保の方法があるのか、どのような管理体制なのか、警察、

消防との連携や地下インフラへの対応等、さまざまな方面からの検討と説明を、三越にお願いしています。また担保の方法についても、中央区はじめ行政との協議中です。

スケジュールとしては、2007年秋には解体着工、2010年春に新規開業したいご希望です。



※街区間道路付替イメージ図

宮崎山形屋視察

銀座デザイン協議会では、公道をつけかえてパサージュをつくり、2つのビルを一体化した事例として、宮崎市の山形屋を視察しました。山形屋のパサージュは、三越の計画に比べて、長さはほぼ同じですが、天井高は低いというのですが、想像以上に明るく、閉鎖的な感じはありませんでした。ただし、山形屋は歩行者専用通路としているのに対し、三越案では車も通すので安全面をよく検討する必要があります。また山形屋では夜間の管理や照明、通路を吹き抜ける風などが問題だということでした。

銀座デザイン協議会

2006年11月、中央区から正式に認定を受けた銀座デザイン協議会は、2月19日現在、24件の案件を受け付けました。このうち、14件がすでに中央区と銀座デザイン協議会によって合意されています。協議にいらっしゃる方に対して銀座デザイン協議会では、専門家のアドバイスを受けながら、通りのにぎわいづくりに貢献するようなデザインをお願いする一方で、街並に調和するデザインかどうか、派手すぎる看板や工

作物ではないかどうか、などを協議させていただいています。

また、新しく銀座にいらっしゃる方には、町会や通り会に入って積極的にまちづくり活動に参加していただけるようお願いしたり、なるべくオーナー様にお会いして、テナントの違法駐輪や置き看板などを指導していただけるようお願いしています。

動く映像や音の出るヴィジョンについては、極力やめていただきたい方向です。それらを明確にするために、デザインガイドラインをいかに策定していくかが今後の課題です。